

三重県の農林水産業の概要

特徴・取組

三重県は、南北約170kmに対し東西約80kmと南北に細長く、中央を流れる橿田川に沿った中央構造線によって、北側の内帯地域と南側の外帯地域に分けられる。内帯地域は、東に伊勢湾を望み、北西には養老、鈴鹿、笠置、布引等の山地・山脈が連なり、外帯地域の東部では、リアス海岸の志摩半島から熊野灘に沿って南下し、紀伊半島東部が形成されている。なお、外帯地域東南側の海岸地帯は、黒潮の影響で温暖な地域が広がっており、尾鷲（おわせ）市は全国でも有数の多雨地帯である。

産業別就業者数割合では、第二次産業の製造業及び第三次産業の卸売・小売業の割合が高い。また、産業別事業所数割合でみると、第三次産業では最も高い卸売・小売業の次に宿泊業、飲食サービス業が高いのも特徴の一つである。

温暖な気候や中京・阪神の大消費地に隣接した立地など、恵まれた条件のもと、世界に誇る松阪牛や伊賀牛、全国3位の生産量である伊勢茶をはじめ、米、トマト、みかん、熊野地鶏、三重サツキなど、多様な農産物が生産されている。また、匠の技と地域の特性を生かした農産物の数々は、国内外で高く評価されている。

温暖な気候と豊富な降水量に恵まれた環境のもと、県土の64%を占める森林において、スギ、ヒノキを中心とした木材生産が行われている。豊富な森林資源が利用期を迎えていることや、2050年カーボンニュートラルの実現に向け森林への期待が高まっていることから、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させる取組を進めている。

農林水産業を持続可能な産業として発展させるため、県産農林水産物の国内外における販売チャンネルの拡大やブランド化等による高付加価値化、輸出促進に向けた産地づくり等の販路拡大に取り組んでいる。

主な農林水産物

ばらのり（養殖）

南勢地域を中心に養殖。収穫量は全国の約5割を占める。（収穫量全国1位）



いせえび

南勢地域を中心に漁獲。漁獲量は全国の約1割を占める。（漁獲量全国2位）



なばな

北勢地域を中心に生産。主に葉茎を食用とする。収穫量は全国の約3割を占める。（収穫量全国1位）



かたくちいわし

北勢・中勢・南勢地域の伊勢湾を主な漁場とする。（漁獲量全国2位）



真珠（養殖）

真珠養殖発祥の地。南勢地域を中心に養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。（収穫量全国3位）



茶

北勢・中勢地域を中心に生産。かぶせ茶の生産は有名。生産量は全国の約1割を占める。（生産量全国3位）



サツキ

北勢地域を中心に生産。出荷量は長年にわたり全国一を誇っており、全国の約8割を占める。（出荷量全国1位）



小麦

北勢・中勢・南勢を中心に生産。「伊勢うどん」の原料粉として評価が高い「あやひかり」が有名。（収穫量全国5位）



みかん

東紀州・南勢地域を中心に生産。特に御浜町（みはまちょう）は柑橘類が通年収穫できる町として有名。（収穫量全国10位）



肉用牛

北勢・中勢・南勢・伊賀地域を中心に生産。松阪牛・伊賀牛はブランド牛として有名。（飼養頭数全国23位）



三重県内の各地域における農林水産物

伊賀地域

【農畜産物】なたね、かぼちゃ、
 水稻、アスパラ、ぶどう、なし、
 鶏卵、肉用牛

中勢地域

【農畜産物】なばな、茶、小麦、みかん、モロヘイヤ、いちご、トマト、キャベツ、たまねぎ、ねぎ、きゅうり、豚、肉用牛
【水産物】かたくちいわし、のり類（養殖）

東紀州地域

【農畜産物】サマーフレッシュ（かんきつ類）、セミノール（かんきつ類）、カラ（かんきつ類）、ナツミカン（かんきつ類）、シラヌヒ（かんきつ類）、みかん、レモン、いよかん、うめ、鶏肉（熊野地鶏）

【水産物】びんなが、まだい（養殖）、めかじき、かつお、いさき

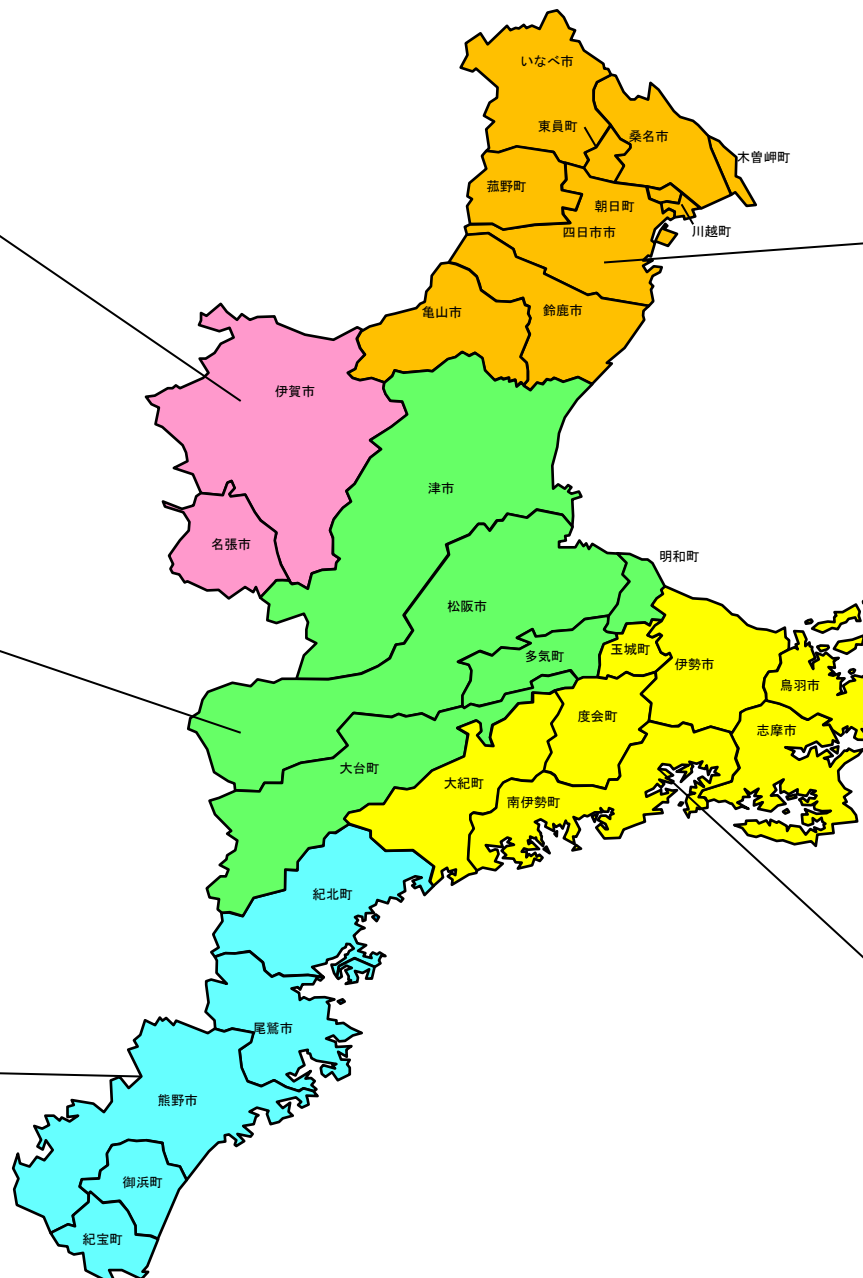
北勢地域

【農畜産物】なばな、茶、観葉植物（鉢もの類）、パンジー（花壇用苗もの類）、小麦、洋ラン類（鉢もの類）、サツキ、六条大麦、大豆、ばれいしょ、はくさい、かぶ、キャベツ、トマト、にんじん、ねぎ、鶏卵、豚、肉用牛

【水産物】かたくちいわし、うなぎ（養殖）、しじみ、のり類（養殖）

南勢地域

【農畜産物】茶、小麦、ガーベラ(切り花類)、みかん、ばら(切り花類)、かぼちゃいちご、ねぎ、豚、肉用牛
【水産物】ばらのり類(養殖)、いせえび、かたくちいわし、真珠(養殖)、さざえ、いさき



三重県の農業（１）

- ・耕地面積は５万６,４００haで全国２４位。うち田が４万３,１００ha、畑が１万３,３００ha。
- ・農業経営体数は１万８,８０４経営体で全国２７位。うち法人経営体が５３３経営体で２８位。
- ・認定農業者数は２,１２３経営体で全国３２位。うち法人数が５１２法人で２４位。

耕地面積

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
耕地面積	56,400 ha	4,297,000 ha	24
田	43,100 ha	2,335,000 ha	19
畑	13,300 ha	1,962,000 ha	28
普通畑	7,970 ha	1,120,000 ha	27
樹園地	5,300 ha	253,500 ha	13
牧草地	26 ha	589,000 ha	44
参考）総土地面積	577,448 ha	37,797,539 ha	25

出典：「令和５年耕地面積（７月１５日現在）」、「令和６年全国都道府県市区町村別面積調（１月１日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	4,955 ha	253,217 ha	21

出典：「令和４年度の荒廃農地面積（令和５年３月３１日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	25,517 ha	2,573,672 ha	25
集積率	44.8 %	59.5 %	20

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和４年度版）」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和６年３月３１日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「○」：単位に満たないもの（例：0.4t→0t）

「－」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「×」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「＊」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
農業経営体数	18,804 経営体	1,075,705 経営体	27
法人経営体	533 経営体	30,707 経営体	28
総農家数	33,530 戸	1,747,079 戸	25
販売農家	18,062 戸	1,027,892 戸	27
参考）世帯総数	742,598 世帯	55,830,154 世帯	22
集落営農数	298 集落営農	14,204 集落営農	21

出典：「2020年農林業センサス（令和２年２月１日現在）」、「令和２年国勢調査」（総務省統計局）、「令和５年集落営農実態調査結果（令和５年２月１日現在）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	18,819 人	1,363,038 人	33
男	12,218 人	822,144 人	29
女	6,601 人	540,894 人	36
65歳以上	15,258 人	948,621 人	29
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	81.1 %	69.6 %	－
認定農業者数	2,123 経営体	219,846 経営体	32
法人数	512 法人	28,720 法人	24
参考）総人口数	1,770,254 人	126,146,099 人	22

出典：「2020年農林業センサス（令和２年２月１日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和５年３月末現在）」、「令和２年国勢調査結果」（総務省統計局）

三重県の農業（ 2 ）

- ・農業産出額は1,089億円で全国31位。うち畜産が474億円（43.5%）、米が233億円（21.4%）、野菜が165億円（15.2%）。
- ・農畜産物の生産状況は、サマーフレッシュ（かんきつ類）、サツキ、なばな（主に葉茎を食するもの）が全国1位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売金額が16億円で全国3位、事業体数は20事業体で18位。

農業産出額

区 分	三重県	全国	全国順位
農業産出額	1,089 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	31
米	233 億円 (21.4)	13,946 億円 (15.5)	23
麦類	10 億円	647 億円	8 *
雑穀	0 億円	83 億円	34
豆類	4 億円	715 億円	22
いも類	6 億円	2,199 億円	33
野菜	165 億円 (15.2)	22,298 億円 (24.8)	35
果実	62 億円 (5.7)	9,232 億円 (10.3)	34
花き	37 億円	3,493 億円	31
工芸農作物	37 億円	1,551 億円	7
その他作物	45 億円	607 億円	3 *
畜産	474 億円 (43.5)	34,678 億円 (38.5)	20
肉用牛	106 億円	8,257 億円	21
乳用牛	78 億円	9,013 億円	22
生乳	71 億円	7,916 億円	23
豚	73 億円	6,713 億円	23
鶏	217 億円	9,716 億円	19
鶏卵	197 億円	5,638 億円	14
ブロイラー	15 億円	3,940 億円	30 *
その他畜産物	0 億円	979 億円	42
加工農産物	16 億円	565 億円	9

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	三 重 県	全 国	全国順位
小麦	収穫量	R5	26,800 t	1,094,000 t	5
茶（荒茶）	生産量	R5	5,220 t	68,000 t	3
みかん	収穫量	R4	15,300 t	682,200 t	10
うめ	収穫量	R5	1,460 t	95,500 t	5
観葉植物（鉢ものの類）	出荷量	R4	3,180 千鉢	40,800 千鉢	3
肉用牛	飼養頭数	R5	31,100 頭	2,687,000 頭	23
サマーフレッシュ（かんきつ類）	収穫量	R3	90 t	90 t	1
セミノール（かんきつ類）	収穫量	R3	458 t	2,518 t	3
サツキ	出荷量	R3	2,246 千本	4,135 千本	1
なばな（主に葉茎を食するもの）	収穫量	R2	417 t	1,440 t	1

出典：「作物統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「花木等生産状況調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 25,479 百万円 事業体数 760 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	13 12
農産物直売所	総額 21,086 百万円 事業体数 370 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	19 26
観光農園	総額 1,143 百万円 経営体数 50 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	11 26
農家民宿	総額 209 百万円 経営体数 10 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	7 * 27 *
農家レストラン	総額 1,575 百万円 事業体数 20 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	3 * 18 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

三重県 林業

- ・林業産出額は105.9億円で全国17位。うち木材生産が52.9億円、栽培きのこ類生産が51.8億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国23位、ひらたけが全国5位、エリンギが6位、なめこ、ひのきが8位、たけのこが9位。

林業産出額

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
林業産出額	105.9 億円	5,806.6 億円	17
木材生産	52.9 億円	3,604.6 億円	19 *
栽培きのこ類生産	51.8 億円	2,079.5 億円	8

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
素材生産量	327 千m ³	22,082 千m ³	23 *
針葉樹	319 千m ³	20,386 千m ³	21
すぎ	190 千m ³	13,238 千m ³	19
ひのき	128 千m ³	2,971 千m ³	8
広葉樹	8 千m ³	1,696 千m ³	28 *
なめこ	生産量 926 t	23,738 t	8 *
ひらたけ	生産量 102 t	4,501 t	5 *
エリンギ	生産量 282 t	37,798 t	6 *
たけのこ	生産量 450 t	21,798 t	9

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
林野面積	371,034 ha	24,770,201 ha	24
国有林	22,171 ha	7,153,338 ha	32
民有林	348,863 ha	17,616,863 ha	20
人工林面積	229,825 ha	10,133,111 ha	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
工場数	166 工場	3,804 工場	1
製材用素材の入荷があった工場数	165 工場	3,778 工場	1
国産材のみ	153 工場	3,054 工場	1
国産材と輸入材	5 工場	560 工場	32

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
林業経営体数	527 経営体	34,001 経営体	24
法人経営体	78 経営体	4,093 経営体	19

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

三重県の漁業

- ・漁業産出額は380億円で全国12位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のかたくちいわし、いせえびが全国2位、海面養殖業のばらのりが1位、内水面養殖業のうなぎが5位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売金額が5億円で全国2位、経営体数は50経営体で3位。

漁業産出額

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	380 億円	14,372 億円	12

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,178 経営体	79,067 経営体	6
内水面漁業経営体数	32 経営体	4,772 経営体	33

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,108 人	151,701 人	8
男	4,626 人	134,186 人	10
女	1,482 人	17,515 人	3

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
漁船隻数	6,582 隻	132,201 隻	3
動力漁船	3,047 隻	69,920 隻	6

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	82,624 t	3,862,831 t	14 *
海面漁業漁獲量	64,919 t	2,950,992 t	12
かたくちいわし	13,072 t	123,241 t	2 *
いせえび	163 t	1,115 t	2
海面養殖業収穫量	17,705 t	911,839 t	15 *
真珠	2,197 kg	12,768 kg	3 *
ばらのり	3,426 t	6,287 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	372 t	54,115 t	21 *
内水面漁業漁獲量	86 t	22,612 t	19
しじみ	82 t	8,313 t	7
内水面養殖業収穫量	286 t	31,503 t	16 *
うなぎ	272 t	19,167 t	5 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	三 重 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 12,980 百万円 事業体数 40 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	3 * 10 *
水産物直売所	総額 1,351 百万円 事業体数 10 事業体	37,410 百万円 840 事業体	7 * 19 *
漁家民宿	総額 495 百万円 経営体数 50 経営体	5,986 百万円 740 経営体	2 * 3 *
漁家レストラン	総額 327 百万円 事業体数 30 事業体	11,598 百万円 420 事業体	12 * 3 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

三重県の農林水産業の話題等（１）

県産農林水産物の販路拡大に向けた取組

【県産水産物消費拡大に向けた取組】

大規模消費地で、これまで連携がない、水産物の販売に力を入れている量販店等において、県産水産物のフェアを定期的かつ継続的に開催し、販売チャンネルの拡大を図り、恒常的な販路の確保につなげる。

また、コロナ禍において多様化した消費者ニーズやＥＣなどの販売方法に対応するためのコンサルティング支援を実施している。

【“三重県産食材を堪能しよう” みえの食フェア開催】

「美し国（うましくに）」と言われ、海の幸・山の幸に恵まれた三重県。

「みえの食」の利用拡大と県民に改めて県産食材の良さを知らってもらうため、令和６年１月６日から１月３１日まで「みえの食フェア 2024」を開催。県内44のホテル・レストラン等が参加し、各店舗がはまぐり、松阪牛、伊勢エビ、伊賀牛などの三重を代表する食材に加え、その地でしか食べることのできない食材を活用し、趣向を凝らしたメニューでおもてなし。



量販店における県産水産物フェア



県産水産物フェア販促用ロゴ

カーボンニュートラルの実現に向けた林業GX推進の取組

【Ｊ-クレジット制度の有効活用を図り林業分野におけるGXを推進】

森林のCO₂吸収機能に経済的価値を生み出すＪ-クレジット制度の有効活用を図り、森林整備を推進するため、森林情報基盤の整備を実施。

また、県行造林をモデルに、効率的な認証取得や効果的なクレジット販売手法に関する検証を実施し、得られたノウハウを県内の市町や林業事業者等と共有することで、県内での取組を拡大していく。

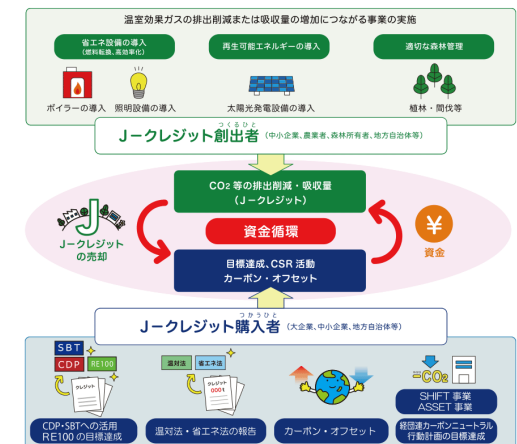
さらに、Ｊ-クレジットの活用により意欲的な林業事業者等の林業DX推進に向けた支援を実施している。



林業DXの推進



森林整備



出典：Ｊ-クレジット制度ホームページ
(<https://japancredit.go.jp/>)

三重県の農林水産業の話題等（２）

安全・安心なマサバの養殖技術開発

【寄生虫リスクのない生食可能なマサバの生産】

新たな養殖対象種として、出荷までの期間が1～1.5年程度と短く、資源状況にも左右されないマサバの養殖技術開発に向けて動き出した。本取組は、人工の稚魚に配合飼料を与えて養殖することで、寄生虫（アニサキス）の心配がなく、生食可能で、脂の乗りが安定したマサバ生産をめざすもの。付加価値が高い、新たなブランド養殖魚の開発により、地域の活性化が期待されている。



養殖場



酪農堆肥の高品質化の取組

【全国的にも事例の少ない酪農の牛ふんを使ったペレット堆肥の生産】

地域の未利用堆肥を活用し、化学肥料の使用量を削減する取組として、広域流通や散布時の取り扱いが容易になるペレット化など、堆肥の高品質化を推進している。

全国的にも事例の少ない酪農の牛ふんを使ったペレット堆肥の生産に向け堆肥化施設や機械の導入を支援。

酪農の牛ふんは水分量が多く、ペレット化には、堆肥乾燥ハウスや、密閉縦型コンポ施設が必要となるなど、水分を減らすための工程が増えることから、高い生産コストが問題であった。しかしながら、肥料メーカーが製造する混合堆肥複合肥料に使用される有機質資材は近年高騰しており、その代替としての活用が期待されている。化学肥料の高騰を受け、堆肥の活用が見直されていることをふまえ、引き続き、堆肥の高品質化により、畜産農家の収益力が向上するよう支援。



密閉縦型コンポ施設



堆肥乾燥ハウス